

はるか

ha ru ka

VOL.12

2004. 4

特集／『技術・家庭科』のいま

- ・トピックス『第2回かすがい男女共同参画市民フォーラム』
- ・あなたはDVを受けていませんか？していませんか？
- ・いきいきピープル
- ・『はるか』な声
- ・インフォメーション



特集

haruka

～「技術・家庭科」のいま～

あなたの時代はどうでしたか？

「技術・家庭科」と言えば、女子は調理実習に裁縫、男子は木工。そんなイメージをお持ちの方も少なくないと思います。

しかし、1989年（平成元年）の学習指導要領改訂にともない、「技術・家庭科」は男女が一緒に学ぶこととなり、その授業内容も大きく変化しました。

では、どのように行われているのでしょうか。高森台中学校の授業を見学し、中井正子教諭、原伸和教諭にお話を伺ってきました。

男女共修に関するエピソード はありますか？

「ぼくはどうして家庭科の授業が受けられないの？」
25年程前、こんな声が生徒からありました。共修に先駆け、男子のクラスで調理実習、女子のクラスで木工を教えてみました。「男子にどうやって教えたらいいのだろう」と教師である私の方が戸惑いが大きかったですね。でも、生徒は楽しそうで、全く抵抗はないようでした。〈中井〉



子どもたちに対して男女共修は どんな影響を与えていますか？

保育の授業もあるのですが、男子がすてきなアイディアを出してくれたり、女子だけの時より、より充実した授業が行えるようになりました。〈中井〉

技術では男女にかかわらず、道具をうまく使いこなす生徒や、出来上がりまでを丁寧に行う生徒もいて…それぞれに刺激し合い、良い影響を与えています。〈原〉

それぞれの教科から何を学び取ってほしいですか？

いろいろな道具の使い方を知ることによって、“物づくり”の楽しさを知ってほしいです。〈原〉

複雑な世の中を生き抜く力をつけてもらいたいです。また、個人個人を尊重する人になってくれることを期待しています。〈中井〉



今後のあり方、方向性については どうでしょうか？

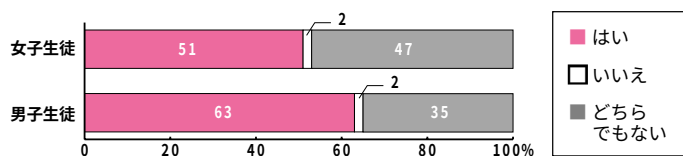
生活に密着した教科として、将来的にも役立ててもらえるよう指導していきたいです。〈原〉

男女差を意識しないで、個々の能力を生かしていけるようになればと思います。〈中井〉

生徒の声

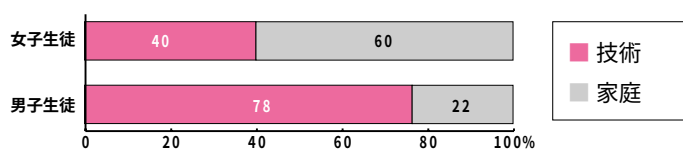
高森台中学校の1年生～3年生の皆さん合計102名(女53名、男49名)にアンケート調査を行いました。

Q 技術・家庭科の授業は好きですか？



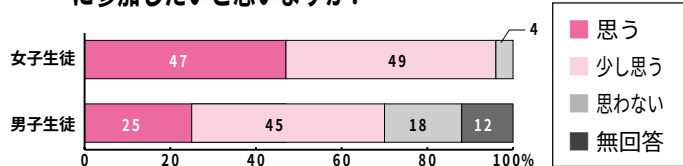
実技を中心としたカリキュラムが組まれている技術・家庭科の授業を否定的にとらえた生徒は極めて少ない。

Q どちらの授業が好きですか？



男女とも、家庭科の中では調理実習が、技術科ではコンピュータと木工の授業が印象に残っていると答えている。

Q 将来、学校で習ったことを生かし、積極的に家事や育児などに参加したいと思いますか？



男女で回答に少し差があるものの、将来お互い協力し合いたいと思っている。



- 結婚したら、家事・育児を分担したい。(1年男子)
- もう今は女の人だけが料理や育児をするという時代ではない。(2年男子)
- しっかりした大人になりたいから、調理や技術の授業は役に立つ。(2年女子)
- 性別に関係なく、家事・育児に参加なくては、と思う。(3年男子)
- 自分の子どもにも習ったことを教えたい。(3年女子)



生活していく上で、家事・育児は性差にかかわらず必要なことです。「男の仕事」「女の仕事」と役割を決めつけてしまうのではなく、男女が一緒に学んだことを生かし、互いを理解し、尊重し合い、将来の家庭や社会を協力し合って築いていってほしいものです。

性差別のない、より良い社会の担い手である彼ら。私たち大人も、家庭や地域、そして職場で、まだまだ「男だから」「女だから」とこだわっていることはないでしょうか。

教育が変われば社会も変わる。時代は少しずつですが確実に変化していることを、気づかされた1日でした。

●トピックス『第2回かすがい男女共同参画市民フォーラム』

昨年11月22日、レディヤンかすがいにおいて、『第2回かすがい男女共同参画市民フォーラム～かがやく個性・のびやかな暮らしを求めて、男女共同参画推進条例を実りあるものに～』が開催されました。当日は冬型の気候に急転したにもかかわらず、その参加者の多さに、男女共同参画啓発事業への関心の高さが感じられました。

開会のあいさつに続き、ジェンダー川柳入賞者の表彰式があり、最優秀賞1名、優秀賞2名に賞状が渡されました。応募総数177句のうち、入選・佳作作品については、『平成15年ジェンダー川柳作品集』に掲載され、その内容からは日常生活に潜むジェンダーの存在に改めて気づかされます。

続いて、小栗成子・中部大学助教授／岩成台西小学校PTA会長と、福井昭弘・市子ども会育成連絡協議会名誉会長による体験発表が行われました。自分らしく生きることの大切さや、男性の家事・子育てへの積極的な参加の必要性を訴えかける有意義な内容でした。

その後、『コンサートグループ 花の詩』によるヴァイオリンとピアノの演奏でリラックスしたところで、タレントで作家の遙洋子さんによる「すべての人がビューティフル～みんなが輝いて生きる為に～」と題した講演がありました。体験談を交えたユーモア溢れる歯切れの良い話に会場内は引き込まれ、和やかな雰囲気うちに閉会を迎えました。



市 民 体験発表

転機と出逢い

小栗 成子

「転石苔を生ぜず」という言葉があります。「1か所に落ち着かない者は大成しない」「活発に活動している人はいつまでも生き生きしている」という2通りの解釈がありますが、いつの間にか、私は後者の支持者となっていました。私にとって最大の「転機」は、やはり高校時の豪州留学。「あなたは将来何をしたいの？」と、出逢う人誰からも絶えず尋ねられ、ネガティブな理由を並べるばかりで、真剣に自分が目指す事と向き合おうとしていなかった自分自身に気づかされ、衝撃を受けました。

その後、進学、就職、再留学、再就職、結婚、転職、出産と、今日までいくつかの分岐点がありました。最初から、そのすべてを目指してきた私ではありませんが、1か所に留まって淀んでしまうのだけは嫌だと思っていました。分岐点に立つたびに繰り返したのは、「今、最優先したいことは？」「今しかできないことは？」という自分への問い。そうしてたどり着いたのが現在の私です。仕事も家庭も子育ても、いくつもの「まわり道」も、そしてもちろん女性であることも、どれも現時点の私を構成している不可欠な要素です。女性であるがゆえの壁は少ない方がラクですが、壁も含めて1つずつ楽しんでしまえば平気！自分を束縛しているのは、周囲の条件ではなく、まず第一に自分自身であったりします。男女問わず、誰もがしっかりと自分自身を見つめ、自分らしい人生を1歩ずつ歩めるといいですね。

妻が僕を変えた日

福井 昭弘

妻と出会ったとき、僕は変わりました。そしてまた定年を迎えたとき、もう1度、妻は僕を変えました。僕はいま、家事を日常的にこなしています。最初は「妻の仕事を手伝っているだけ。僕の仕事ではない」という感覚でした。給料も出ない、生産性もない、妻に指示された事を1日の内に片付ける。これはいったい何なのだ、僕も暇ではないのだぞと思ったりしました。

でもあるとき、ふっと気がつきました。掃除をすると家の中が綺麗になり心地よくなる、気持ちに余裕ができて仕事にも力が入る、ご近所との付き合いも楽しくなる、家庭の中が明るくなる。そうか、家事は直接お金にはならないけれど、家族が元気に安心して働ける環境をつくる大事な仕事なんだと。

「家事」は、辞書に「家庭生活を営むための家の中の仕事」とあります。まさにそのとおりだと思いました。昔は妻から「外に出てばかりいないで、家事もしてくださいね」と言われていましたが、今では僕が「たまには家で身体を休めたらどうだ」と言っています。

家事というのは、妻の仕事でも、言われたからやるものでもありません。気がついた人が、気がついたときやるものです。そのためには3、4歳の子どものころから、食事の用意やゴミの分別など、体験的に学ばなければなりません。男の子だからとか、女の子らしくという言葉は抜きにして、みんなで一緒に協力し合う、そんな心を育てていけたらいいと思います。

あなたはDV(夫・恋人からの暴力)を受けていませんか？していませんか？

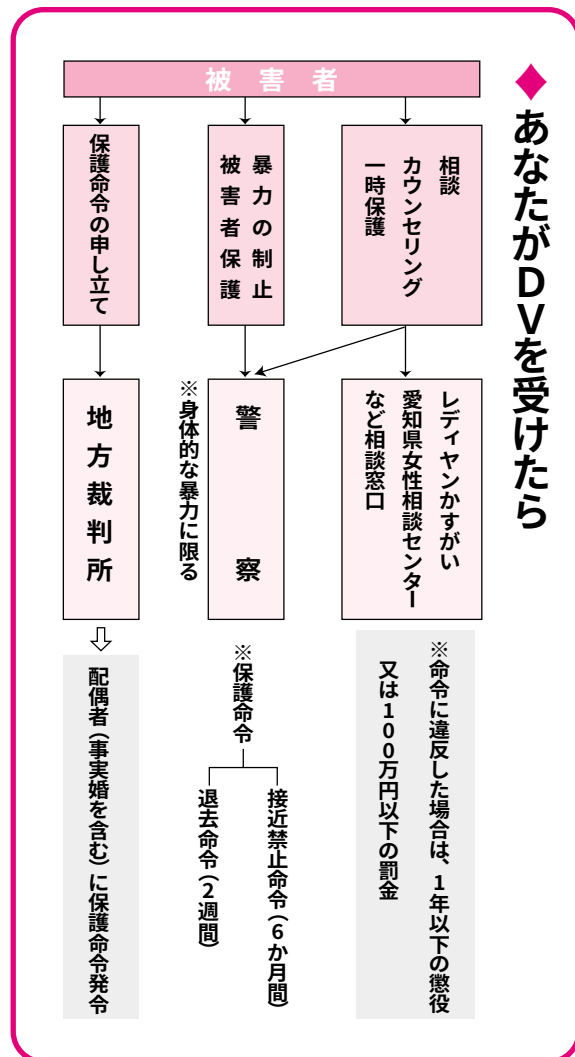
●DVによる心身への影響

DVの被害を受けた人には、負傷による苦痛だけでなく、不安、緊張、イライラ、情動の不安定さ、憂うつ、無力感、億劫さ、集中力や興味関心の低下、動悸、息苦しさ、不眠、悪夢、頭痛、肩凝り、胃腸障害、高血圧などさまざまな症状が出やすく、想像を絶する苦しみが続きます。

更には、暴力の危機にさらされている期間だけではなく、その期間が過ぎた後でも、突然はっきりと当時の感情や身体感覚が襲ってくるフラッシュバックの症状(PTSD:外傷後ストレス障害)に悩まされる人が非常に多いことも放置できない大きな問題です。

これらの被害を受けている人々の立ち直りに向けての第一歩は、『安心して思考のできる環境』を整えることです。

◆あなたがDVを受けたら



一 もしあなたが、DVに苦しむ人から相談を受けたら 一

- ①最後まで話を聞いて“あなたは悪くないのだ”ということを伝えてあげましょう。
- ②責めたり、批判するような口調で、話をしないようにしましょう。
- ③暴力の内容を他言せず、興味本位で聞かないように心がけましょう。
- ④あきらめないで相談機関に連絡したり、アドバイスを受けるように助言しましょう。
- ⑤相談機関や病院、警察に同伴するなどの支援を、心がけましょう。

主な相談窓口

- 愛知県女性相談センター(女性悩みごと電話相談) ☎052-913-3300

午前9時～午後9時(土・日・祝日・年末年始は休み)

- 愛知県警春日井警察署 ☎(代)56-0110



- レディヤンかすがい

お問い合わせ:青少年女性センター ☎85-4188

女性相談	火曜日 午前10時～午後3時	県相談員	夫婦間のトラブル、結婚、男女問題、家庭内の不和などについて	☎85-7871
男女人権相談	水・金曜日 午後1時～午後4時30分	カウンセラー	性別による差別的取り扱い、セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスによる人権侵害について	
女性の ための	家庭相談	木曜日 午後1時～午後4時30分	家庭内における子育てや女性の悩みについて	注
	法律相談 <予約制>	第1・3土曜日 午前10時～正午	弁護士	
	こころの相談	第2・4土曜日 午前10時～正午	カウンセラー	

注 法律相談の予約 ☎85-4188 午前9時～午後5時受付

※ 女性相談は、月曜日及び火曜日が祝日の場合休みとなります。

※ 女性相談以外は祝日も実施します。

※ 相談をお受けするのは、すべて女性です。

いきいき

ピープル

このコーナーでは、春日井市内で活躍する“いきいきピープル”を紹介します。第2回目は、中部電力(株)春日井営業所配電課にお勤めの「井上真帆」さんです。男性社員が圧倒的に多い会社ですが、その中で活躍されている井上さんと、彼女の上司の方にお話を伺いました。

Q:現在はどうな仕事をされていますか？

A:私は共架[※](きょうが) 申込みに対し、事前調査を行い、共架契約の締結や費用請求をしています。場合によっては現場まで出向くこともあります。

※共架…電柱を電気供給以外の目的(電話線や各種ケーブル線、街路灯、街区表示の設置等)にも利用すること。

Q:入社してから現在までの経過をお聞かせください。

A:入社して3か月間は、日進市にある研修所で研修を受けました。その後、設計・工事・保守等の仕事を経て、現在は共架業務に従事しています。女性の同期22名のうち半分ほどが辞めてしまいましたが、一昨年には、女性ではまだ少ないといわれる第一種電気工事士にも合格しました。現在は配電課の中で2名の女性が働いています。

Q:技術系の仕事を選ばれた理由を教えてください。

A:スキー・登山など外で活動するのが好きなので、1日中机に向かっている事務系より、技術系の仕事を希望しました。

Q:多くの男性の中で仕事をしていて大変なことはありますか？

A:全くありません。ただ、お客様から専門的なことを質問された際、対応するのが女性ということで、お客様が一步退かれてしまう場合があるのが残念ですね。

Q:上司から見た井上さんはどのような人ですか？

A:細やかな心配りができ、ハキハキとした対応でよくやってくれます。仕事をする上で、性別を意識することはありませんね。

Q:井上さんから読者の皆さんに一言お願いします。

A:女性が働き続けられる制度がどんどん整ってきていますから、1人でも多くの方が社会に出て自分の力を出してほしいです。「男に負けたくない」というのではなく、男・女と意識せず、人対人としてお互いに頑張してほしいです。

ありがとうございました。



●レポートを終えて

肩肘張って“男だ・女だ”と言うのではなく、人として付き合いたいと言う井上さん。自信と行動力に満ちた瞳が印象的でした。自分に合った職業を見つけ、仕事・趣味に充実した毎日をおくられている様子が伝わってきました。

あなたのお近くのいきいきピープルをご紹介します!!

『はるか』な声

亡くして知った妻の大仕事

熊谷 雅

「女は損だ！」

休日に食事の支度をするたびに、亡妻から聞かされた嘆き節であった。聞けなくなって8年になる。

彼女は、洋裁は得意であったが、炊事は大の苦手。私と見合いし、結婚が決まってから料理学校に駆け込んだようだが、所詮付け焼き刃。味が濃すぎたり、たくさん作りすぎたりで、新婚時代は大変苦労した。ときどき発する私の苦言を「教材」にして、亡くなる前には煮物など自分でも自慢するほど、上手になっていた。

かくいう私は、炊事はおろか、家事はまるでだめ。小学校時代に家庭科の授業がなかったわけではないが、調理設備がなく、専門の家庭科教師もいなかったから、運針と称して雑巾を1枚縫っただけだ。教育とはおそろしいもので、家事は出来なくていいものとインプットされてしまった。

妻を亡くして、初めて家事が大変な仕事だと悟った。三度、三度の食事の用意がこんなにもシンドイものとは、自分でやるまで分からなかった。当たり前のこととして、感謝さえしてなかったことに愕然とした。なぜ、「たまには僕が……」と言ってやれなかったのだろう。「申し訳なかった」と、今さらながら天国に向けて手を合わせている。「今頃分かったか！」と、彼女は苦笑していることだろう。ナーム……。

世の中は

岡部 秋子

年配のご夫婦がショッピングカートを押して寄り添うように買い物をしている風景は、この頃当たり前のように見かける。男性は女性に対して男らしさというものを誇示しなくなった。女性は女性で自由と余裕を持つようになった。生まれた時から男性は戦場に、女性は軍国の母となるべく育てられた私共の年代から見ると全くの様変わりと思える。

我が家と娘夫婦の家とは庭続きの距離で、洗濯物の干し場が共有である。ムコ殿が整然と洗濯物を干しているのを見た私は娘に抗議した。しかし返って来た言葉は意外であった。「お母さんがそういうことを言う」とパパ(ムコ殿)は嫌がるからそんなこと言わないで。我が夫はことごとく娘を非難するばかりである。前世の遺物的男性とも思える夫にしてみれば当然であろう。私も理屈としては理解しているが、感情として割り切れぬものがくすぶっていた。

それから幾年、相変わらずムコ殿の洗濯物干しは続いている。ごく普通の事として洗濯物に限らず家事もこなしている。本人さえ良かったらそれでいいじゃないの、固い頭の親がシャシャリ出なくとも。私はようやくにして違和感を持つことなく見られるようになり、「これもまたよし」と思うに至った。ムコ殿には「おはようございます」とのみ明るく挨拶を交わす。決して「ご苦労様」とは申さぬように。

●みなさんからのエッセイ(500字程度)を募集しています。

なんでだろうコーナー



ジェンダーに縛られ、女性が家事や育児をするものだと決めつけていませんか?

*ジェンダーとは…社会的・文化的に形成された性別のこと。「女はこうすべき」「男はこうあるべき」といった社会的枠づけや「女らしさ」「男らしさ」といった固定的な「らしさ」を意味する。

春日井市男女共同参画審議会委員を募集

平成15年4月「春日井市男女共同参画推進条例」の施行に伴い、「春日井市男女共同参画審議会」を設置しました。日頃から男女共同参画に関心のある方を「男女共同参画審議会委員」として募集します。

- **目的** 男女共同参画の推進に関する施策の実施状況や市が実施する施策に対する申出について調査審議し、意見を述べる。
- **任期** 2年
- **会議の開催** 年3回程度
- **募集人数** 2人
- **応募資格** 市内在住か在勤・在学の20歳以上の人で、市の附属機関等の委員となっていない人
- **応募方法** 所定の附属機関等委員応募申込書に主な履歴、応募理由(応募の動機、抱負など)を記入し、提出してください(郵送可)。なお、応募申込書は青少年女性課、市役所情報コーナー、レディヤンかすがい、各ふれあいセンター、各公民館に用意してあります。また、インターネットでも申込書がダウンロードできます。
- **応募締切** 平成16年4月16日(金) <必着>
- **選考方法** 選考委員会による書類選考
- **選考結果** 平成16年5月中旬に文書で応募者全員に通知します。

送付・問い合わせ先 〒486-8686 春日井市市民経済部青少年女性課 TEL85-6154

平成十五年 ジェンダー川柳

男女共同参画社会の実現に向けて、市民のみなさんからジェンダー川柳を募集しました。主な入賞作品は次のとおりです。

最優秀賞

我が息子しっかり覚えた父の味

高蔵寺町 木下まるみ

優秀賞

俎(また)板のパパのリズムで踊るママ

上田楽町 伊藤五百子

保護者会でご見て言うの「ご父兄のー」

高蔵寺町北 船戸菜穂子

編集後記

委員になってから、以前は気にとめなかったことをいろいろ考えるようになりました。ジェンダー問題の根は「気にとめない」という無意識の中にあるのだと、自分を見て気づきました。〈久世〉

夢はありますか？いくつになっても夢を持てるってすばらしい。だれもが夢を持続けられる社会になればと思います。〈佐藤〉

万物が躍動する春です。情報紙『はるか』の編集に参画以来、学ぶ事の多さに感謝しつつ、躍動しています。今後尚一層内容充実に努めます。〈西田〉

男女共同参画を勉強しつつ、お互いに独りになっても困らないように家事の分担などを見直していますが、急激に私が変わっていくのを夫は「この年になって…」と心の中で戸惑っていると思います(お互いに理解し合おうね)。〈本田〉

若い頃、時代は全然変化してないといら立ったこともありました。『はるか』の中に、変化の息吹を少しでも感じてください。〈伊藤〉

かすがい市男女共同参画情報紙 『はるか』vol.12
2004年4月発行

企画・編集 はるか編集委員

発行 春日井市市民経済部青少年女性課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5-44

TEL0568-85-6152 FAX0568-85-3786

Eメール sesyojo@city.kasugai.lg.jp

市民編集委員の企画・編集による『はるか』いかがでしたか？
ぜひ、みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

また、『はるか』で取りあげたい内容がありましたら、併せてお知らせください。

100%再生紙を使用しています。



ISO14001認証取得
「環境にやさしい自治体春日井市」